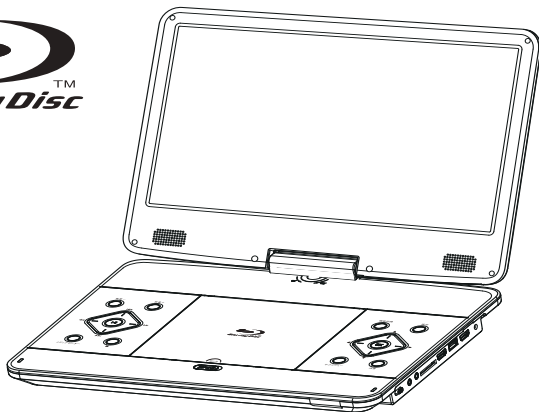


取扱説明書 -保証書添付-

品番：SU-14FPB

Superbe

14インチフルセグ対応
ポータブルブルーレイプレーヤー



-この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます-

- ご使用前に必ずこちらの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分理解された上で正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。
- お読みになられた後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等、必要事項の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
- 本製品は一般家庭用です。業務用途などに使用しないでください。

⚠ 本製品は日本国内専用品であり、日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

目次

はじめに	
設置の手順	1
付属品の確認	2
安全上のご注意	
安全に正しくお使いいただくために	3
使用上のお願い	
未永くお使いいただくために	12
ディスクについて	
使用できるディスク	15
ディスクに表示されているマークについて	17
リージョンコード (地域番号)	18
著作権について	18
ディスクの内容区分	19
各部の機能	
各部機能	20
準備	
電源の接続/電源の操作	24
リモコンの準備 / リモコンの操作	25
メモリーカードの対応	26
SDスロットの使用	26
USB ポートの使用	27
画面の回転	28
かんたん設定	29
機能の切り換え	29
再生 (基本編)	
ディスクの再生 (基本操作)	30
再生 (応用編)	
ディスクの再生 (応用操作)	32
再生 (便利な再生機能編)	
ディスクの再生 (便利な操作)	34
メディアセンター	
メディアセンターの使用	40
地上デジタル放送 / ワンセグ放送	
視聴準備	45
地上デジタル放送 / ワンセグ放送を視聴する	48
本体設定	
設定メニュー	50
外部端子接続	
テレビに出力する	55
ビデオを入力する	56
イヤホンを使用する	56
トラブルシューティング	
故障かな?と思ったら	57
その他	
仕様	59
保証条件の内容	61

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。


ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順


製品構成を確認します。

(1 ページ)



本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」、「使用上のお願い」、「ディスクについて」、「各部の機能」をよく読みます。

(3 ~ 23 ページ)



準備を行います。

(24 ~ 28 ページ)



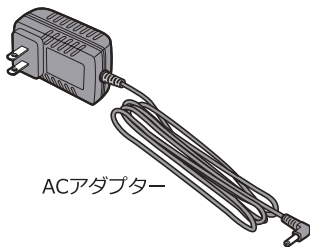
本製品の電源をオンにします。

(24 ページ)

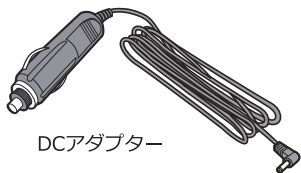
はじめに

付属品の確認

パッケージの中に下記のものが入っているかご確認ください。



ACアダプター



DCアダプター



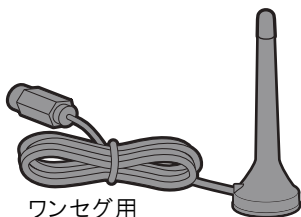
リモコン



地上デジタル専用
mini B-CASカード



取扱説明書兼保証書
(本書)



ワンセグ用
簡易ロッドアンテナ



リモコン用電池*



AVケーブル



スチールプレート



イヤホン

*付属のリモコン用電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。ご了承ください。


安全上のご注意


安全に正しくご使用いただくために


製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

警告 異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社お客様サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社お客様サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社お客様サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音がしたら、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社お客様サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社お客様サポートセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜くか、シガーソケットアダプタをシガーソケットから外してください。

そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社お客様サポートセンターへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

危険 使用について



禁止

ACアダプタは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

バッテリーを内蔵しているため、燃やしたり、熱器具や電気調理機器などで加熱したりしないでください。
故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

落下や衝撃により破損したら、ご使用にならないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社お客様サポートセンターへご連絡ください。

警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

ACアダプタは、100ボルト交流電源 (AC100V) のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



DC12V以外
使用禁止

シガーソケットアダプタは、自動車 (マイナスアース車に限る) 用 12 ボルト直流電源 (DC12V) のシガーソケットにしっかり差し込んでご使用ください。
自動車用 12 ボルト直流電源以外でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



エンジン始動後
に接続

シガーソケットアダプタは、エンジン始動後に接続してください。
エンジン始動時、瞬間的に発生する可能性のある高電圧や大電流 (サージ電流) により、故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



定期的に
プラグを掃除

電源プラグは、定期的に掃除を行ってください。
電源プラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源プラグのお手入れは、ACアダプタをコンセントから取り外して行ってください。
電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



警告 電源について



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OAタップなどの定格を超えてご使用にならないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ
禁止

ACアダプタやシガーソケットアダプタのコードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災
や感電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手で電源プラグに触れないでください。
感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントをご使用にならないでください。
コンセントに電源プラグをしっかりと差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があ
ります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コードひっぱり
禁止

電源プラグをコンセントに抜き挿しする場合、電源プラグを持ってください。
コードを引っばると、電源プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や
感電の危険があります。



警告 設置について



不安定な場所に置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。



水濡れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

通気口をふさがしないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。
ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。



禁止

運転者の視界を妨げる場所や運転操作の妨げになる場所に取り付けしないでください。また、運転装置に触れる場所に取り付けしないでください。
事故の危険があります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所や、チャイルドシートやジュニアシートの正面には取り付けしないでください。
感電やケガの危険があります。



警告 使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運び場合は、無理に取り扱わないでください。



禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用にならないでください。
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

破損や変形、補修したディスクはご使用にならないでください。
ディスクは製品内で高速に回転しますので、ケガをする危険があります。また、回転中のディスクには触れないでください。



禁止

業務用途としてはご使用にならないでください。
過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。また、運転中は製品を使用しないでください。事故の危険があります。



禁止

目的外の使用はしないでください。
火災や感電の危険があります。



警告 使用について



禁止

運転中はご使用にならないでください。
事故の危険があります。また、運転者の視界を妨げる場所や運転操作の妨げになる場所、運転装置に触れる場所、エアバッグの動作を妨げる場所に置かないでください。



注意

航空機内でのご使用は、航空会社の指示に従ってください。
事故の危険があります。



警告 電池について



指定外の電池
使用禁止

指定の電池をご使用ください。
指定外の電池、種類の違う電池や未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス (+)、マイナス (-) の極性に注意してください。



電池を
取り外して

長時間ご使用になれないときは、電池を取り外してください。
使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を加熱したり、分解したり、水や火の中に入れてください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。



禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないください。
飲み込むと、障害や中毒の原因となります。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、清潔な水で洗い流してください。
電池の液が目に入った場合は、すぐに多量の清潔な水で洗い流し、医師の診察を受けてください。失明の危険があります。

注意 使用について



コンセントから
プラグを抜く

長期間ご使用になられないときは、電源プラグを抜いてください。
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。



適度な音量で
使用する

適度な音量でご使用ください。
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。



適度な音量で
使用する

イヤホンは、適度な音量でご使用ください。
耳を刺激するような大音量で長時間連続ご使用になると、聴力が損なわれる可能性があります。また、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では、ご使用にならないでください。



ピックアップ
レンズを見ない

ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないでください。
レーザー光を見続けることにより、視力が損なわれる可能性があります。



禁止

メモリカードを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
飲み込むと、窒息や障害の原因となります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- 製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- 製品を移動する際は、ディスクやメモリーカードを取り出し、電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
- 電源を入れたまま、電源プラグをコンセントから取り外さないでください。
- 視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
- 疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- 映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- 大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- 運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
- 耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
- 本製品は、24時間以上の連続使用を想定した設計を行っておりません。
- 本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：| LCD、| Blu-ray Discドライブ、| ACアダプタ、| ディスプレイ開閉部 (ヒンジ))

製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源を切り、ACアダプタをコンセントから取り外してください。
- 汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ピックアップレンズにチリやホコリが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となりますので、その場合、市販のレンズクリーナーを使用してください。

製品の温度について

- 密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
- 製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから取り外してください。

結露（つゆつき）について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- 結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

- 磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- 電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- 磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

- 使用後は節電のため、電源を切ってください。
- 長く使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能なディスクであっても、再生できない場合があります。
- ディスクに指紋やホコリなど汚れが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となります。
- 保管する際は、専用ケースに入れ、温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところを避けてください。
- 信号面（光っている面）には手を触れないでください。
- ディスクの汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから、内側から外側へふき取ってください。
- ひどい汚れは、市販のディスククリーナーを使用してください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、ディスクに反りが起こり、使用できなくなる可能性があります。
- 印刷面に文字などを書き込む場合、硬いものは使用せず、やわらかいフェルトペンなどを使用してください。
- 正円形のディスクを使用し、それ以外の形のディスクは使用しないでください。

メモリーカードの取り扱いについて

- メモリーカードに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能なメモリーカードであっても、再生できない場合があります。
- 保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
- 端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

- 対応する再生可能なフォーマットであっても、再生できない場合があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
- 大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
- データの管理は、お客様の責任において行ってください。

自動車内での使用について

- リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。
- 運転中の運転者は製品を使用しないでください。
- 運転者の視界を妨げる場所や運転操作の妨げになる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、運転装置に触れる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、エアバッグの動作を妨げる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、アクティブヘッドレストの動作を妨げる場所に取り付けしないでください。
- 製品や付属品を、チャイルドシートやジュニアシートの正面には取り付けしないでください。
- 取り付け具が緩んだ場合、直ちに増し締めを行ってください。
- ひっぱったり、ぶらさがったり、強い力を加えないでください。
- バケットシートなどのヘッドレスト一体型シートに取り付けることはできません。
- ヘッドレストやシートに取り付け跡が残る場合があります。
- 使用後は、製品や付属品を取り外し、車内から持ち出してください。
- 車検時、検査官の判断により、取り付けたままでは合格しない場合がありますので、事前に取り外してください。
- 目的外の使用はしないでください。
- 目的外の使用や誤使用、改造などにより事故が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

免責事項

- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、ジャケットに記載されています。

ディスク	マーク	内容
Blu-ray Disc		・12cm ・リージョンコードが A および ABC
BD-R/RE		・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD ビデオ ディスク	 	・12cm / 8cm ・リージョンコードが 2 および ALL ・映像方式：NTSC
DVD-R/RW		・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD+R/RW	 DVD+ReWritable	・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
オーディオ CD		・12cm / 8cm
CD-R CD-RW	 	・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。

●ディスクにマークがあっても、データの作成方法やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

- 本製品は、日本のテレビ方式 (NTSC) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 市販されているディスクでも再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

- リージョン番号が「A」か「ABC」以外のブルーレイディスク
- リージョン番号が「2」か「ALL」以外のDVDビデオディスク
- DVD オーディオ、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のディスク
- フォト CD、CD-G、CD-ROM、CD-EXTRA のデータなど

記録形ディスクの再生について

- 本製品が対応している記録形ディスクであっても、データの記録状態によって再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。



著作権保護機能 (CPRM) のついたディスクの再生について

- 著作権保護機能「CPRM(Content Protection for Recordable Media)」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応しておりますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオCDの再生について

- 複製制限機能 (コピーコントロール機能) のついたオーディオCDの中には、正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

再生するときの制約

- この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。
DVDビデオディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に  と表示されることがあります。 と表示されたときは、本製品がディスクがその操作に対応していません。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクラベルやパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の音声収録されています)
	記録されている字幕の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の字幕収録されています)
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 (左の例は、3種類の角度で収録されています)
	横：縦 = 4 : 3 の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス（横：縦 = 4 : 3 で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。
	横：縦 = 16 : 9 のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4 : 3）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横：縦 = 16 : 9 のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4 : 3）のテレビの場合はパン&スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード(地域番号)

リージョンコードについて

- ブルーレイディスクと DVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョンコード）が設定されています。ご使用になるディスクに表示されている地域番号（リージョンコード）と一致しないと再生できません。

本製品で再生できるディスクは以下の通りになります。

※地域番号が同じでも日本向け以外のディスクでは正常に再生できない場合があります。

ブルーレイディスク : 地域番号（リージョンコード）は“A”です



DVD ビデオディスク : 地域番号（リージョンコード）は“2”です



著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。
- 本製品は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。また、本製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクの内容区分

タイトル、チャプター、トラック

ブルーレイディスクと DVD ビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。



オーディオ CD は、「トラック」で区切られています。



タイトル : ブルーレイディスクと DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック : オーディオ CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

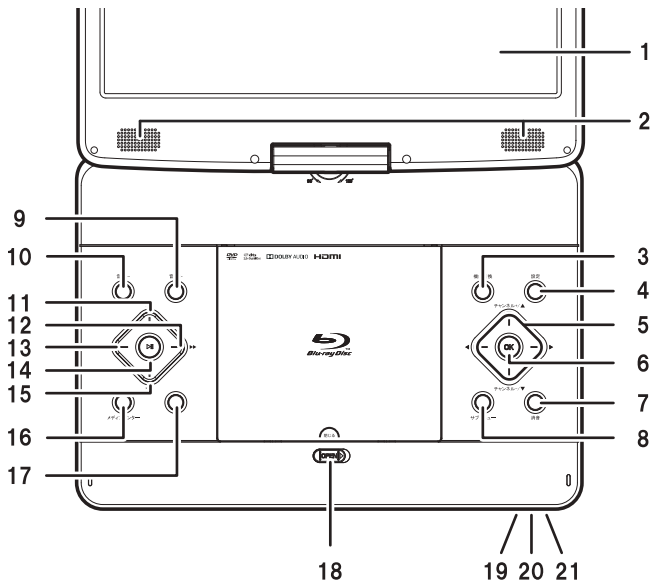
それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

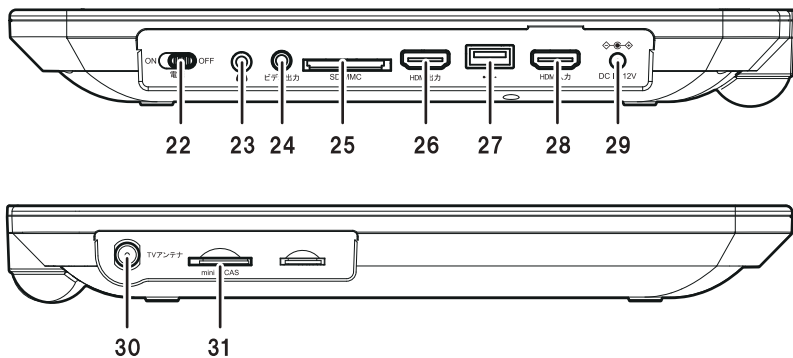
各部の機能

本体とリモコンの各部機能を紹介します。

本体上面

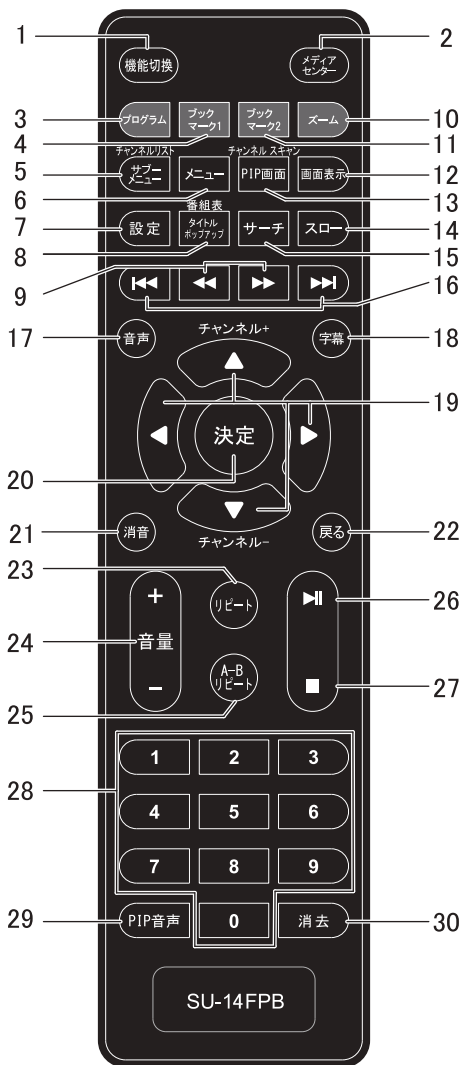


本体側面



1	液晶画面	映像を映し出します。
2	スピーカー	音声を出力します。
3	機能切換ボタン	ディスク再生、TV、外部入力、の各機能を切り換えます。
4	設定ボタン	各種設定画面を表示します。
5	方向操作 /チャンネル+ -	上下左右で項目を選択します。 TV機能(FULL-SEG)時は上下でチャンネルを変更します。
6	決定ボタン (OK)	選択した項目を決定します。
7	消音ボタン	音声の「オン」「オフ」を行います。
8	サブメニューボタン	サブメニュー (TV時はチャンネルリスト) を表示します。
9	音量+ボタン	音量を上げます。
10	音量-ボタン	音量を下げます。
11	スキップ (前) ボタン	前のチャプター/トラック/ファイルなどに移動します。
12	早送りボタン	早送りをを行います。
13	早戻しボタン	早戻しを行います。
14	再生/一時停止ボタン	再生を開始します。再生中に押すと一時停止します。
15	スキップ (次) ボタン	次のチャプター/トラック/ファイルなどに移動します。
16	メディアセンターボタン	メディアセンター画面を表示します。
17	停止ボタン	再生を停止します。
18	ディスクトレイ開閉	ディスクトレイのフタを開閉します。
19	リモコン受信部	リモコンの赤外線を受信します。
20	充電ランプ	充電中に点灯します。電池残量が少なくなると点滅します。
21	電源ランプ	電源が「オン」のとき、青色で点灯します。
22	電源スイッチ	電源の「オン」、「オフ」を行います。
23	イヤホン端子	イヤホンを接続します。
24	ビデオ出力端子	付属のAVケーブルを接続します。
25	SDカードスロット	SDカードを挿入します。
26	HDMI出力端子	HDMIケーブルを接続します。
27	USBポート	USBメモリーを接続します。
28	HDMI入力端子	HDMIケーブルを接続します。
29	電源端子	付属の電源アダプターを接続します。
30	アンテナ端子	地上デジタル/ワンセグ受信用アンテナを接続します。
31	miniB-CASカードスロット	地上デジタル専用miniB-CASカードを挿入します。

リモコン



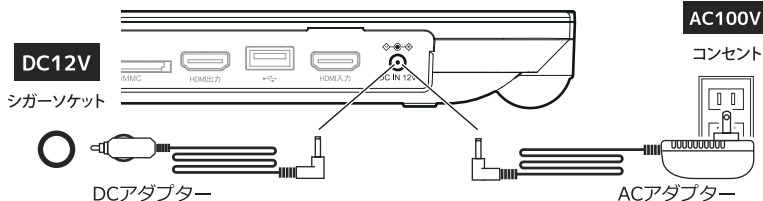
1	機能切換	ディスク再生、TV、外部入力、の各機能を切り換えます。
2	メディアセンター	メディアセンター画面を表示します。
3	プログラム	プログラム再生を行います。
4	ブックマーク1	ブックマークを設定します。
5	サブメニュー /チャンネルリスト	サブメニューが表示されます。 TV機能（F-SEG）時はチャンネルリストを表示します。
6	メニュー	ディスクのメニュー画面を表示します。
7	設定	設定画面を表示します。
8	タイトルポップアップ /番組表	収録されているポップアップメニューを表示します。 TV機能（F-SEG）時は番組表を表示します。
9	早戻し/早送り	早戻し / 早送り を行います。
10	ズーム	映像や画像の拡大、縮小表示を行います。
11	ブックマーク2	設定したブックマークを表示します。
12	画面表示	再生中の情報を表示します。
13	PIP画面 /チャンネルスキャン	ピクチャーインピクチャー表示を行います。 TV機能（F-SEG）時はチャンネルスキャンを行います。
14	スロー	スロー再生を行います。
15	サーチ	タイトル/チャプター/再生時間などを指定して再生します。
16	スキップ	前や次のチャプター/トラック/ファイルなどに移動します。
17	音声	音声を切り換えます。
18	字幕	字幕を切り換えます。
19	方向操作 /チャンネル+ -	上下左右で項目を選択します。 TV機能（F-SEG）時は上下でチャンネルを変更します。
20	決定	選択した項目を決定します。
21	消音	音声の「オン」「オフ」を行います。
22	戻る	前の画面に戻ります。
23	リピート	リピート再生をします。
24	音量+ -	音量を調整します。
25	A-Bリピート	区間を指定したリピート再生を行います。
26	再生/一時停止	再生を開始します。再生中に押すと一時停止します。
27	停止	再生を停止します。
28	数字キー	数字を入力します。
29	PIP音声	PIP音声に切り替えます。
30	消去	入力した項目を消去します。

●上記は一例です。ディスクや実行中のメニューによって動作は異なります。

準備

電源の接続

右側面の電源端子に付属のACアダプターやDCアダプターを接続します。

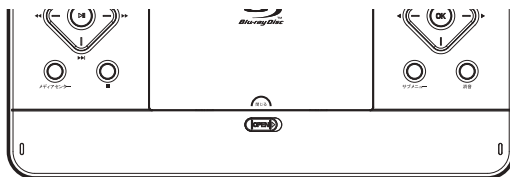


電源の操作

ON OFF 電源
→ 本体右側面の電源スイッチを「ON」側にスライドすると、電源が入ります。

ON OFF 電源
→ 「OFF」側にスライドすると、電源が切れます。

- 本体右側面の電源スイッチを「ON」側にスライドしても電源ランプが点灯しない場合、充電残量がありません。専用ACアダプタやシガーソケットアダプタを接続して充電してください。
- 使用状態により異なりますが、満充電状態から約2時間使用できます。



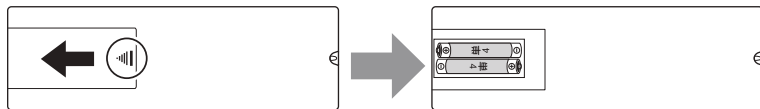
充電ランプ	
充電中	赤点灯
充電完了	消灯
充電残量 僅少時	赤点減

電源ランプ	
電源オン	青点灯
電源オフ	消灯

- 電源がオフの場合、充電を開始してから約4時間で満充電となり、満充電状態から約2時間使用できます。
- 使用しながら充電できますが、電源がオフの場合より充電時間が長くなります。
- 内蔵バッテリーは繰り返しの充放電により消耗しますが、交換はできません。

リモコンの準備

始めてリモコンを使う時は、下記を参考にして付属の電池を装着してください。



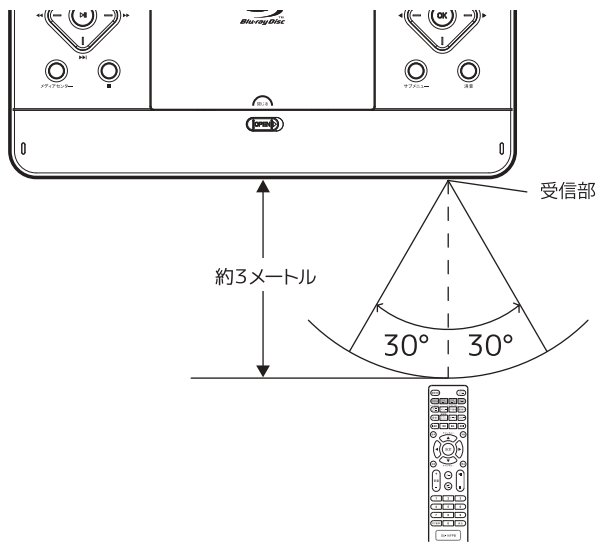
丸印部を押しながら、矢印方向へスライドしてふたを外します。

+, -の向きに注意して電池を入れます。その後、ふたを戻してください。

- 長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
- 付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

リモコンの操作

リモコンを使うときは、リモコン受信部から約3m以内の距離で、上下左右30度以内の範囲から操作をしてください。



- リモコンと受信部の間に、障害物がないようにしてください。
- 受信部に直射日光や強い光が当たっていると、リモコン操作ができなくなる場合があります。

メモリーカードの対応

以下のメモリーカードに対応しています。

- ・SDメモリーカード
- ・SDHCメモリーカード
- ・USBメモリー

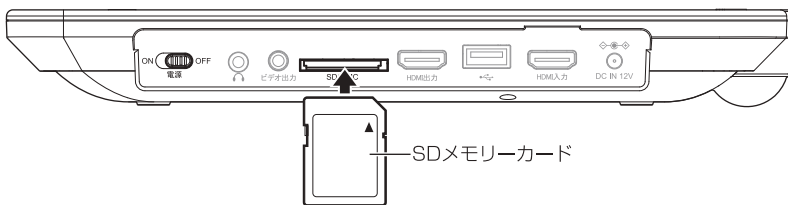
- すべてのメモリーカード、すべての容量の動作保証をするものではありません。
- miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードを使用する場合、別途専用アダプタが必要になります。
- MMC（マルチメディアカード）での動作保証はしていません。
- SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



SDスロットの使用

SD スロットを使用して SD メモリーカードから音楽・画像・動画を再生する方法を紹介します。

SDメモリーカードから再生する



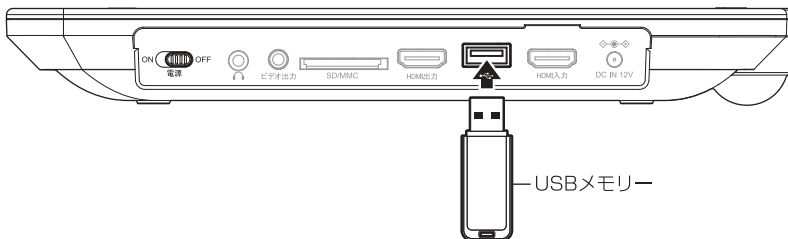
1. SDメモリーカードを差し込みます。
2. 「メディアセンター」ボタンを押し、[SDカード1]を選択します。(P.40)

- SDメモリーカードは、読み込みをしてない時に取り外してください。
- 音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、「■」ボタンを押し、再生を停止させてからSDメモリーカードを取り外してください。

USBポートの使用

USBポートを使用して USBメモリーから音楽・画像・動画を再生する方法を紹介します。

USBメモリーから再生する



1. USBメモリーを差し込みます。
2. 「メディアセンター」 ボタンを押し、[USB1]を選択します。(P.40)

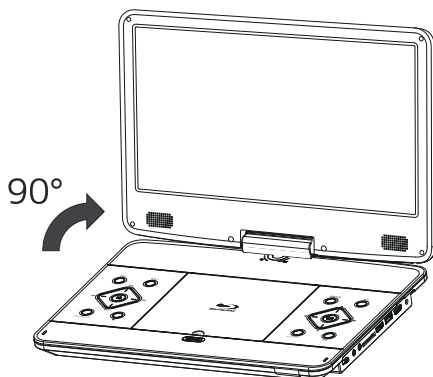
- USBメモリーは、読み込みをしてない時に取り外してください。
- 音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、「■」ボタンを押し、再生を停止させてからUSBメモリーを取り外してください。
- 搭載されているUSBポートは、USBメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本製品やUSBメモリーの故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。

画面の回転

液晶画面が左に90度、右に180度回転でき、環境に合わせてスタイルを変更して視聴できます。

1 液晶画面を開く

液晶画面を90°起こします。

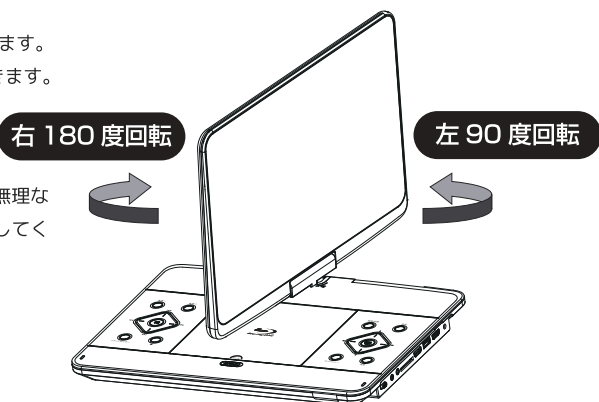


2 回転させる

時計回りに180°回転できます。

反時計回りに90°回転できます。

液晶を回転させる時は、無理な力をかけないように注意してください。



※：液晶画面は水平に回転させてください。
傾けたり、折りたたんだ状態で回転させると本体に傷が付く場合があります。

●液晶画面を回転させる場合は本体を押さえ、指などを挟まないように注意してください。

かんたん設定

設定初期化を行ったときに、本機の初期設定を行うためのかんたん設定が始まります。

かんたん設定を行う

Page:1/5

初期設定の案内画面です。「決定」を押して次へ進みます。

Page:2/5

表示言語の設定です。標準で「日本語」が選択されていますので、変更しない場合は「決定」を押して次へ進みます。

Page:3/5

画面解像度の設定です。標準で「1080P」が選択されていますので、変更せずに「決定」を押して次へ進みます。

Page:4/5

画面縦横比の設定です。標準で「16:9フル」が選択されています。変更せずに「決定」を押して次へ進みます。

Page:5/5

設定完了の案内画面です。「決定」を押してください。初期設定が完了し、設定メニュー画面が表示されます。

設定メニューを閉じる

「設定」ボタンを押して、設定メニュー画面を閉じます。

以上で初期設定は完了です。ブルーレイディスクの鮮やかな映像をお楽しみください。

●かんたん設定中に前の画面に戻るには、「◀◀」ボタンを押してください。

●初期設定後も、設定メニューから「かんたん設定」を行うことができます。

機能の切り換え

各機能の切り換え方法を紹介します。

「機能切換」ボタンを押すと、ディスク再生「BD」、TV「FULL SEG」、外部入力「HDMI IN」に切り換わります。

「BD」・・・ブルーレイディスク、DVDビデオディスク、CDなどを再生します。

「FULL SEG」・・・地上デジタル放送を受信します。

「HDMI IN」・・・「HDMI 入力」に接続した外部機器の映像を表示します。

再生（基本編）

ディスクの再生（基本操作）

ディスクの基本操作を紹介します。

ディスクを再生する

1. ディスクカバーを開けます

液晶画面を開き、本体上面の「OPEN」ボタンを押してディスクカバーを開けます。

2. ディスクを入れます

再生面を下にして、ディスクの穴をディスクトレイ中央部の突起に、カチッと音がでるまでしっかりとはめこみます。

3. ディスクカバーを閉めます

開いたカバーの「PUSH TO CLOSE」部をカチッと音がするまで下に押しと、ディスクを自動的に再生します。

再生を停止する

リモコンの「■」ボタンを押すと、再生が停止します。

リモコンの「■」ボタンを1度押した場合は、画面左上に■マークが表示され停止位置が記憶されます。ボタンを2度押した場合は停止位置が記憶されません。ディスクの先頭から再生が開始されます。

一時停止する

再生中にリモコンの「▶||」ボタンを1度押すと一時停止できます。

通常再生に戻るにはもう1度「▶||」ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

リモコンの「■」ボタンを続けて2回押します。

画面左上に「■」表示が無い状態で、リモコンの「▶||」ボタンを押すとディスクの先頭から再生されます。

早送り / 早戻しする

再生中にリモコンの「▶▶」 / 「◀◀」ボタンを押すと、早送り / 早戻し再生になります。

「▶▶」 / 「◀◀」ボタンを押すごとに [1] [2] [3] [4] [5] 段階と再生速度を変更できます。

通常再生に戻るには「▶||」ボタンを押します。

前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの「◀◀」 / 「▶▶」 ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。

「▶▶」 ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。

「◀◀」 ボタンを押すと、再生中のチャプターの開始地点へ移動します。

前のチャプターの開始地点へ移動するには 2 回押してください。

●ディスクによっては、ボタンを押してから動作するまで時間がかかる場合があります。

音量調整する

「音量 +/-」 ボタンを押すと音量調整できます。

消音する

リモコンの「消音」 ボタンを押すと消音状態になります。

消音状態を解除するには、もう 1 度「消音」 ボタンを押してください。

メニュー / タイトル画面を表示する

メニュー画面やタイトル画面が記録されているディスクでは、各画面からチャプターを選んで再生や、音声や字幕の設定が可能なものもあります。

リモコンの「メニュー」 ボタンを押すと、ディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

「▲ / ▼ / ◀ / ▶」 ボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

「決定」 ボタンを押すと選択した項目が表示されます。

再生（応用編）

ディスクの再生（応用操作）

ディスクの応用操作を紹介します。

音声を切り替える

複数の音声記録されているディスクは、音声の切り替えができます。

※例：ディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

再生中にリモコンの「音声」ボタンを押すごとに音声切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り替える場合があります。
- 1つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。

字幕を切り替える

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。

また、複数の字幕が記録されているディスクでは、字幕を切り替えられます。

再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り替える場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクや、1つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

アングルを切り替える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

リモコンの「サブメニュー」ボタンを押して、OSC(オンスクリーンコントロール)で切り替えます。(P.38)

- ディスクによっては、メニュー画面でアングルを切り替える場合があります。
- ディスクによっては、リモコンの「赤」/「黄」/「緑」/「青」ボタンを使用します。
- 1つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

ズーム再生する




ディスク再生中に、リモコンの「ズーム」ボタンを押すと、ズーム再生になります。ボタンを押す毎に [2×] [3×] [4×] [1/2] [1/3] [1/4] が選択でき、拡大再生中は「▲/▼/◀/▶」ボタンで表示位置を移動できます。

●ディスクによってはズーム再生できない場合があります。

リピート再生する

「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

リモコンの「リピート」ボタンを押すごとに下のリピートモードが選択できます。

-  **チャプター** . . . 現在のチャプターを繰り返し再生し、チャプターの最後まで再生すると、チャプターの先頭から再生が始まります。
-  **タイトル** . . . 現在のタイトルを繰り返し再生し、タイトルの最後まで再生すると、タイトルの先頭から再生が始まります。
-  **オール** . . . 全てを繰り返し再生します。
- (非表示) . . . 通常再生に戻ります。

●ディスクによってはリピート再生できない場合があります。

●音楽 CD 再生時は「トラック」「オール」が使用できます。

再生（便利な再生機能編）

ディスクの再生（便利な操作）

ディスクの便利な再生機能を紹介します。

ディスク情報を表示する

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

再生中にリモコンの「表示」ボタンを押すと下のように画面に表示されます。



もう1度「表示」ボタンを押すと非表示になります。

●ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

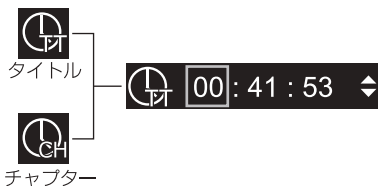
サーチ再生する

ご覧になりたい時間を指定して再生します。

再生中にリモコンの「サーチ」ボタンを押します。

ディスク情報画面が表示され、[経過時間]の項目にカーソルが移動します。

リモコンの「▲/▼」ボタンでタイトル/チャプターが選択できます。



リモコンの「決定」ボタンを押すと、下のように表示が切り替わり、数字キーで時間を入力できます。

リモコンの「◀/▶」ボタンで[時][分][秒]が移動できます。

入力した時間を消去するには「消去」ボタンを押してください。



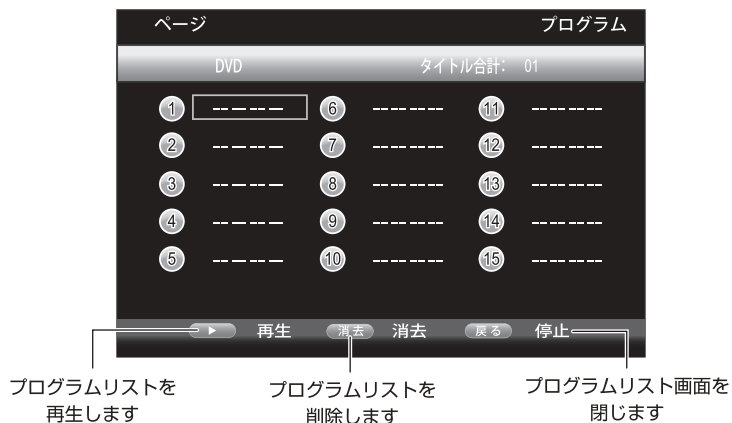
時間を入力した後にリモコンの「決定」ボタンを押すと、指定した時間から再生されます。

●収録時間外の数字は入力できません。

プログラム再生する

タイトル / チャプターをプログラムリストに登録して再生します。

再生中にリモコンの「プログラム」ボタンを押すと、下のような画面が開きます。



■プログラムリストに登録する

リモコンの「決定」ボタンを押します。

左のように表示が切り替わりますので、リモコンの「▲/▼」ボタンで数字を入力して「◀/▶」ボタンでタイトル / チャプターが選択できます。



リモコンの「決定」ボタンを押すと確定され、次項のリストへカーソルが移動します。

リモコンの「▶▶」ボタンを押すとプログラムリストに登録した順に再生されます。

- ディスクによって正常に動作しない場合があります。
- CPRM で記録されたディスクは記録状態により異なりますので動作保証外となります。

ブックマーク機能を使用する

ご覧になりたい位置を登録して再生します。

■ブックマーク位置を登録する

再生中に位置登録したい場面でリモコンの「ブックマーク1」ボタンを押します。ボタンを押すごとに下のように表示され、最大12か所の登録ができます。



■ブックマーク位置を呼び出す

再生中にリモコンの「ブックマーク2」ボタンを押すと下のように表示されます。



再生中にリモコンの「▲/▼/◀/▶」ボタンで再生したブックマーク番号を選択し、「決定」ボタンを押すと再生します。

削除するには「消去」ボタンを押してください。

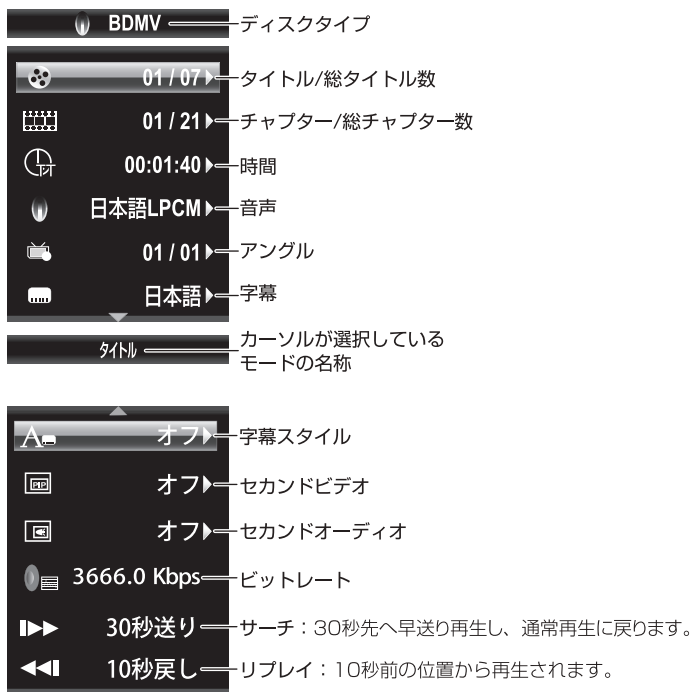
「ブックマーク1」ボタンを押すと非表示になります。

- ブックマーク画面を表示中、再生は停止されます。
- ブックマーク位置は再生を停止すると消去されます。

OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用する

再生中にリモコンの「サブメニュー」ボタンを押すと以下のように表示され、各機能が使用できます。

カーソルボタンで項目を移動し、「決定」ボタンで変更できます。



●ディスクに記録されていない項目は切り替えできません。

メディアセンター

メディアセンターの使用

動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルを再生するメディアセンターの操作方法を紹介します。

メディアセンターを開く

USBメモリー、SDメモリーカード、データディスク、を挿入して電源を入れます。

「機能切換」ボタンを押して、「BD」に切り換えます。

リモコンの「メディアセンター」ボタンを押すと、メディア選択画面が表示されますので再生したいメディアを選択してください。

※データディスクが挿入されたときは、ディスクを読み込みフォルダ表示画面になります。

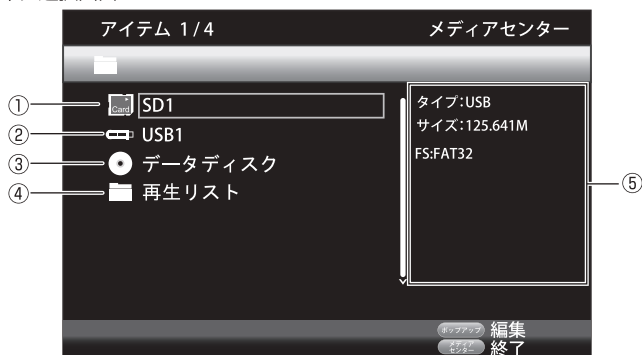
■操作方法

「決定」ボタン：項目やフォルダを確定して開きます。

「▲/▼」ボタン：項目やフォルダ、ファイルを選択します。

「◀」ボタン：1つ前のフォルダ階層に戻ります。

メディア選択画面



- ①：SDメモリーカードのデータを読み込みます。※
- ②：USBメモリーのデータを読み込みます。※
- ③：ディスクトレイに挿入されたディスクを読み込みます。※
- ④：プレイリスト登録されたファイルを表示します。
- ⑤：カーソルで選択されている項目の情報が表示されます。

※挿入されていないときは表示されません。

再生するファイルの種類を選択する

メディアを選択すると、フォルダ表示画面になります。



- ① : アイテム番号/総アイテム番号を表示します。
- ② : 現在のフォルダ階層を表示します。
- ③ : 1つ前の階層に戻ります。
- ④ : 写真ファイルを表示します。
- ⑤ : 音楽ファイルを表示します。
- ⑥ : 動画ファイルを表示します。
- ⑦ : AVCHDファイルを表示します。

●④～⑦は USBメモリーや SDメモリーカードに記録されているフォルダではなく、ファイルの種類を分類するために本製品が自動表示しています。写真フォルダよりフォルダ階層に入ると、画像ファイル以外は表示されません。

- 対応する形式であっても、すべてのファイル、すべてのメモリーカードの動作保証をするものではありません。
- 日本語ファイル名は正常に表示されない場合があります。

動画 / 音楽 / 写真ファイルを再生する

動画ファイル、音楽ファイル、写真ファイルを再生時の操作方法を紹介します。

「▶▶」 : 再生します。

「■」 : 1回押すと再生を停止して、画面左上に「■」マークが表示され停止位置が記憶されます。
2回押すと停止位置情報が消去され、メディアセンター画面になります。

「▶▶」 : 一時停止します。

「◀◀」 : 早戻し / 早送りスピードを調整します。
「▶▶」

「▶▶」 : 前後のファイルに移動します。
「◀◀」

「消音」 : 消音します。

「表示」 : 情報を表示します。
音楽ファイル再生画面の表示のオン / オフを切り替えます。

「リピート」 : シングルリピート / オールリピート / 通常再生が選択できます。

「サーチ」 : 時間指定してサーチ再生します。

「ズーム」 : 拡大表示して再生します。

「サブメニュー」 : OSC(オンスクリーンコントロール)機能が使用できます。
(表示内容は「OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用する (P.38)」を参照してください)

画像ファイル再生時の操作

■ 画像ファイル再生時の OSC (オンスクリーンコントロール) 機能



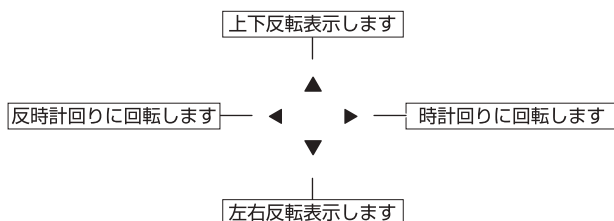
ファイル：画像番号 / 総画像数

プレイモード：ノーマル / シャッフル / ランダム

スライドショー：高速 / 中 / 低速

トランジション：なし / 左にワイプ / 右にワイプ / 上にワイプ / 下にワイプ / ボックスイン / ボックスアウト / ブレンド / ディゾルブ / 水平インターレース / 垂直インターレース / 左右から中央に / 上下から中央に / 中央から左右に / 上下から左右に

■ 画像ファイル再生中の「▲ / ▼ / ◀ / ▶」ボタンの動作



音楽ファイルを再生する

メディアセンター画面で音楽ファイルを選択して「▶||」ボタンを押すと、下のような音楽ファイル再生画面に切り替わります。

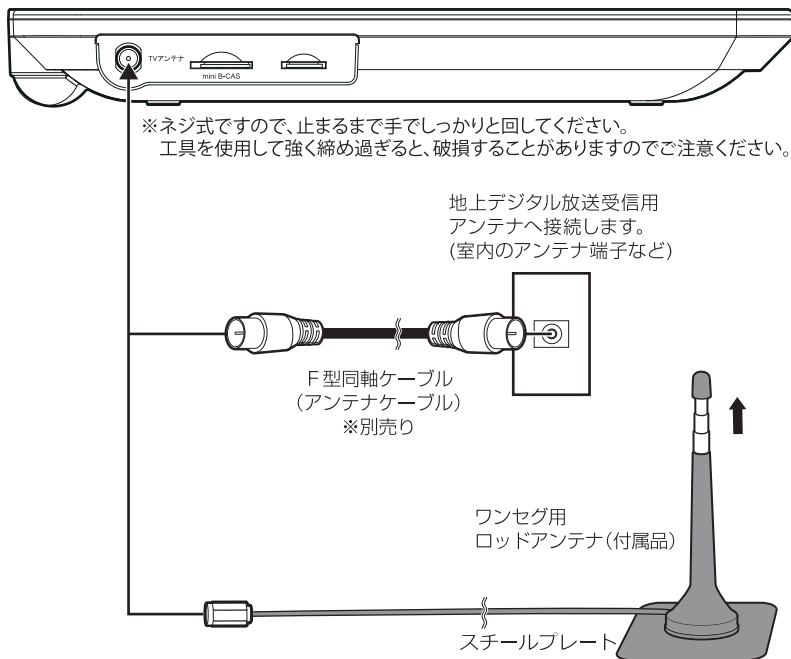


地上デジタル放送 / ワンセグ放送

視聴準備

地上デジタル放送やワンセグ放送を視聴する前に以下の準備をしてください。

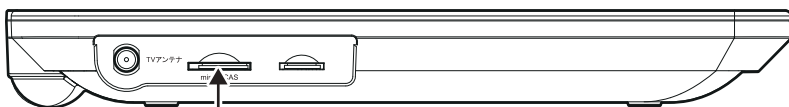
アンテナを接続する



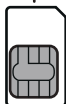
アンテナの底面はマグネットになっていますので、金属面に設置してください。
金属面に設置できない場合は、付属のスチールプレートを使用して設置してください。
※金属面以外に設置した場合は、受信感度が低下する場合があります。

- 付属のロッドアンテナは窓際などの受信感度が良い場所に設置してください。ビルや地下、コンクリートの壁を使用した建物の中では受信ができない場合があります。
- 付属のロッドアンテナで受信できない場合は、F型同軸ケーブル (別売) を接続し受信を確認してください。
- アンテナを接続する場合は、必ず本製品の電源をオフし、ACアダプタをコンセントから抜いてください。ACアダプタはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください。

地上デジタル専用 mini B-CAS カードを入れる



地上デジタル専用
mini B-CAS カード
(付属品)



電源がオフであることを確認し、mini B-CASカードの端子面を上にして「カチッ」と音がするまで奥に差し込んでください。

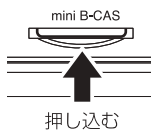
- 地上デジタル放送を視聴する場合は、付属のmini B-CASカードを差し込む必要があります。
- mini B-CAS カードスロットには、mini B-CAS カード以外を入れないでください。故障や破損の原因になります。
- 使用中に mini B-CAS カードを抜き差ししないでください。

B-CAS (ビーキャスト) カードについて

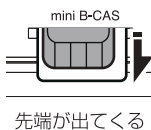
- 本製品には地上デジタル専用 mini B-CAS カードが 1 枚付属しております。B-CASカードの役割やの取り付け方法については、「地上デジタル専用 mini B-CAS カードを入れる」を参照してください。
- mini B-CASカードの登録や取り扱い方法の詳細は、カードが貼ってある説明書を参照してください。
- mini B-CASカードの破損、紛失、盗難や本製品の廃棄などでカードが不要になった場合などは、(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。
(お問い合わせ先：カスタマーセンター TEL 0570-000-250)

地上デジタル専用 mini B-CASカードを取り出すには

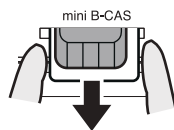
mini B-CASカードを取り外す場合は、mini B-CASカード中央部を指で押し込み、出た端をつまんでゆっくり取り外します。



押し込む



先端が出てくる



つまんで
取り出す

チャンネル設定をする

電源を入れ、「機能切換」ボタンを押して「TV機能(FULL SEG)」に切り換えます。

はじめて「TV機能(FULL SEG)」に切り替えたときは、チャンネルスキャンが始まります。



チャンネルスキャンが終わるとチャンネルが登録され、視聴画面に切り換わります。

※付属のロッドアンテナでは受信感度が低く、チャンネルが登録できない場合は「サービスなし」と表示され視聴画面に切り換わりません。その場合は、F型同軸ケーブル(別売)で地上デジタル放送受信用アンテナ(室内のアンテナ端子など)と接続して、再度チャンネルスキャンを行ってください。

■チャンネルスキャンを行うには
リモコンの「チャンネルスキャン」ボタンを押すか、TV設定メニューから「フルスキャン」を選択してください。

初期状態では、受信状態に合わせ自動的に地上デジタル放送とワンセグ放送が切り換わります。

地上デジタル放送かワンセグ放送の一方のみを視聴したいときは、TV設定メニューの「受信方法設定」で選択してください。

- 受信場所を移動したり、受信環境が変わって受信が出来なくなった場合は、チャンネルスキャンをやり直してください。
- 受信環境の状態によっては、チャンネルスキャンに時間がかかる場合があります。
- 放送エリア外では視聴できません。
- チャンネルによって受信状態が異なる場合があります。

地上デジタル/ワンセグ放送を視聴する

本項目では地上デジタル放送とワンセグ放送の操作方法を紹介します。

- 地上デジタル放送かワンセグ放送のどちらかを視聴したい場合はTV設定メニューの受信方法設定で[フルセグ][ワンセグ]を選択してください。

番組表を見る

リモコンの「番組表」ボタンを押すと現在放送中の番組表が表示されます。
番組表は現在放送中の番組より8日分の番組が表示されます。

テレ王		1/365
06/15 11:00	イーイーフィッシング[S]	
06/15 11:30	TVショッピング・ショップジャパン[S]	
06/15 12:00	テレ王くんのうた[S]	
06/15 12:05	馬しか[S]	
06/15 13:00	Shopping Time・JXXJエネルギーTVショッ	
06/15 13:30	宇宙戦隊ジュレンジャー[S]	

「▲/▼」ボタンで番組を選択し、「決定」ボタンを押すと番組内容が表示されます。

イーイーフィッシング[S]
06/15 11:00~06/15 11:30
バスフィッシング発祥の地でビッグバスGET!!

番組表に戻るには「戻る」ボタンを押してください。

チャンネルリストを見る

リモコンの「チャンネルリスト」ボタンを押すとチャンネルリストが表示されます。



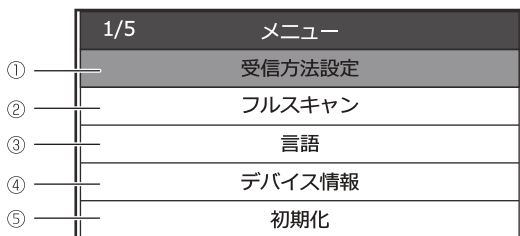
「▲/▼」ボタンでチャンネルを選択し、「決定」ボタンを押すと、プレビューウィンドウに選択したチャンネルが映ります。

そのまま視聴するには、「チャンネルリスト」ボタンか、「戻る」ボタンを押します。

受信方法が「自動」の場合は「◀/▶」ボタンで「フルセグ」、「ワンセグ」のチャンネルリスト表示の切り替えができます。

TV 設定メニューについて

TV 設定メニューで設定できる項目を紹介します。



- ① . . . [ワンセグ] [フルセグ] [自動] を選択します。
- ② . . . チャンネルスキャンを行います。
- ③ . . . メニュー画面などの表示言語を選択します。
- ④ . . . [B-CASカード情報] [バージョン情報] などを表示します。
- ⑤ . . . TV 設定を出荷時に戻します。

●初期化を行うとチャンネル登録もリセットされ、チャンネルスキャンが始まります。

本体設定

設定メニュー

ディスク再生機能(BD)時の設定を変更します。

「設定」ボタンを押してセットアップメニュー画面を表示し

「◀/▶」ボタンで「基本設定」「映像設定」「オーディオ設定」を選択します。

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説		
基本設定 	システム	自動再生	●オン オフ		①		
		設定初期化	操作確認		②		
		アップグレード	ディスク	USB SD		③	
			かんたん設定				④
		BUDA	BUDA 情報 BUDA 設定		⑤		
	言語設定	設定画面言語	英語 ●日本語	各国言語		⑥	
		メニュー	●日本語				⑦
		音声	字幕	各国言語 ●日本語	各国言語		⑧
				●日本語 オフ			
		再生機能	アングル	●オン オフ	●オン オフ		⑩
	PIP画面		●オン オフ	⑪			
	PIP音声		●オン オフ	●オン オフ		⑫	
	ラストメモリー		⑬				
	安全設定	パスワード変更	パスワード入力			⑭	
視聴制限		パスワード入力	オフ		⑮		
			子供向け				
			G				
			PG				
			PG13				
			PGR				
右							
NC17							
●無制限							

※●印は工場出荷値の設定になります。

-
- ① : 自動再生を設定します。
 - ② : 設定を工場出荷時へ戻します。(ディスクが入っていない状態で操作します。)
 - ③ : ※管理用となり、通常は使用しません。
 - ④ : 簡単設定をします。
 - ⑤ : BD-LIVEで使用するUSBメモリー、SDメモリーカードの選択や、「BUDA」フォルダ内のデータ消去と空き容量の確認をします。
 - ⑥ : 表示言語を設定します。
 - ⑦ : メニュー言語を設定します。
 - ⑧ : 音声を設定します。
 - ⑨ : 字幕言語を設定します。
 - ⑩ : アングルマークを設定します。
 - ⑪ : ピクチャーインピクチャー画面マークを設定します。
 - ⑫ : ピクチャーインピクチャー音声マークを設定します。
 - ⑬ : ラストメモリー機能を設定します。(※ディスクによっては「オン」でも機能しない場合があります。)
 - ⑭ : パスワードを変更します。初期値は0 0 0 0です。
 - ⑮ : 視聴制限を設定します。パスワードの入力が必要です。

- ⑤の「BUDA」フォルダ内のデータ消去は実際のデータは消えず、ブルーレイディスクとの関連付けが解除されます。実際のデータを消去するにはコンピュータと接続してフォーマットしてください。
- ⑬のラストメモリー機能を使用する場合は、再生中にリモコンの「■」ボタンを1回押して停止し、そのまま電源をオフにしてください。
※ラストメモリー（レジューム）機能は、DVD-Videoのみ有効です。録画されたディスクには対応していません。
※ラストメモリー（レジューム）機能は、ディスクによって制限があり、正常に動作しないことがあります。

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
映像設定 	画面調整	アスペクト比	● 16:9フル	/	①
			16:9ノーマル		
			4:3PS		
			4:3LB		
		解像度	自動		②
			480i		
			480p		
			● 720p		
			1080i		
		映像出力設定	● NTSC		③
			PAL		
			マルチ		
		色空間	● RGB		④
			YCbCr		
			YCbCr422		
	フルRGB				
	HDMI Deep Color	30bits	⑤		
		36bits			
		48bits			
	HDMI 1080P 24Hz	● オフ	⑥		
		オン			
映像処理	画質調整	明るさ	-16 ~ 0 ~ +16	⑦	
		コントラスト	-16 ~ 0 ~ +16		
		色調	-9 ~ 0 ~ +9		
		彩度	-9 ~ 0 ~ +9		
	鮮明度	高	⑧		
		● 中			
		低			
		低			

※●印は工場出荷値の設定になります。

①：映像の画面比率を設定します。

②：解像度を設定します。

③：映像出力の設定をします。

④：色空間を設定します。

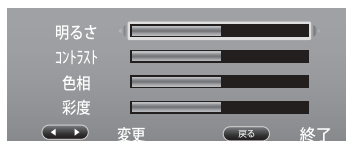
⑤：HDMIディープカラーを設定します。

⑥：1920×1080/24P対応テレビとHDMI接続している場合に設定します。

⑦：画質を調整します。

⑧：映像の鮮明度を設定します。

■ [⑦画質調整]について




数値変更：「◀/▶」ボタン

項目移動：「▲/▼」ボタン

確定：「決定」ボタン

戻る：「戻る」ボタン

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
音声設定 	音声出力	HDMI	ビットストリーム		①
			●PCM		
			オフ		
		ダウンサンプリング	●48K		②
			96K		
			192K		
		DRC	オフ		③
			オン		
			●自動		

※●印は工場出荷値の設定になります。

- ①：HDMI出力時の音声を設定します。
 ②：HDMI出力時のダウンサンプリング周波数の設定をします。
 ③：DRCの設定をします。


■[ビットストリーム] [PCM] について

ビットストリーム：オリジナルのビットストリーム音声信号を出力します。

PCM：すべての音声がリニアPCMに変換され音声出力されます。

■[DRC] について

音声のダイナミックレンジ(最大の音と最小の音との差)を圧縮し、小音量時でも音を聞き取りやすくします。
 (本機能はドルビー音声再生時のみ効果があります)

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
システム情報 					①

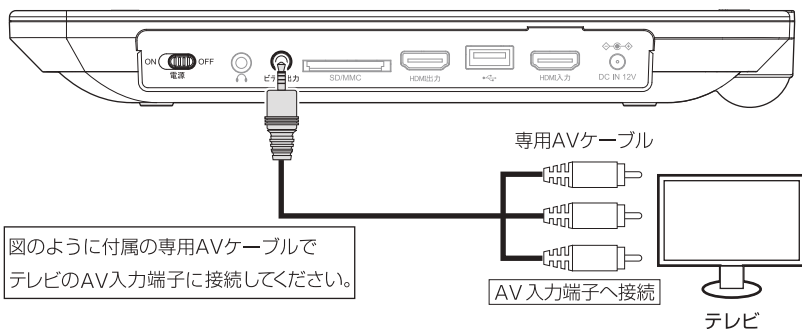
- ①：●ソフトウェアバージョンと MAC アドレスが表示されます。

外部端子接続

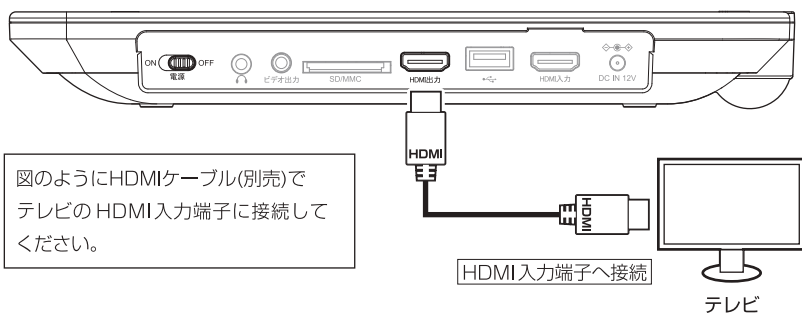
テレビに出力する


外部出力端子を使用してテレビに出力する方法を紹介します。

■専用 AV ケーブルで接続する



■HDMI ケーブル (別売) で接続する

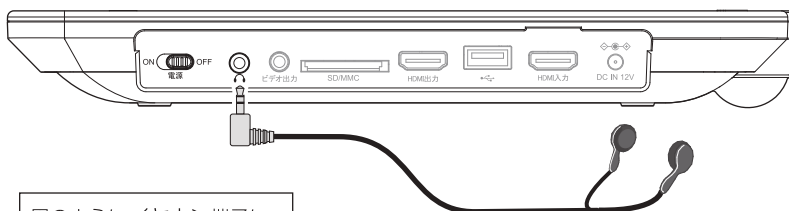


- テレビ・映像機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- 外部出力時も本体から音声が出力されます。
音声を消す場合は  にイヤホンや3.5mmステレオミニケーブル(別売)を接続してください。
- 地上デジタル放送やワンセグ放送の映像をテレビに出力することはできません。

※すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

イヤホンを使用する

イヤホン端子を使用して、イヤホンで音声を聞くことができます。



図のようにイヤホン端子に接続してください。

- 音量を最小にしてから接続してください。
- イヤホンを接続すると、本体から音声は出力されなくなります。

外部機器から入力する

HDMI入力端子を使用して、外部機器の映像と音声を入力することができます。



図のようにHDMIケーブル(別売)で外部機器のHDMI出力端子に接続、「機能切換」ボタンを押し、外部入力(HDMI IN)に切換えてください。(P.29)

HDMI出力端子に接続

- 映像機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- 音量調節は映像機器側で行なってください。

※すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

トラブルシューティング

故障かな?と思ったら

製品本体

- 電源が入らない**
- 専用ACアダプタをコンセントへしっかりと差し込んでください。(P.24)
 - バッテリー切れになってないか確認してください。(P.24)
- リモコンがきかない**
- 電池の+、-の向きを確認してください。(P.25)
 - 電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.25)
 - リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.25)
 - リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。
- すべての設定を初期設定に戻したい**
- セットアップメニュー画面の[基本設定]から[初期化]を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.50)

●静電気や落雷、他の機器との干渉により、本製品が正常に機能しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにするか電源をオフにしてから電源コードを抜き、再び挿し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。

ディスク再生

- 再生できない**
- 本製品で再生できるディスクが確認してください。(P.15)
 - ディスクのリージョンコードを確認してください。(P.18)
 - ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13)
 - ディスクはラベル面を上正しくセットしてください。
 - ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。
 - 寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部やディスクに露が付くことがあります。1～2時間放置してください。(P.13)

録画したディスクが再生できない	● ディスクがファイナライズされていない場合、再生することができません。
映像が白黒になる	● ディスクの映像タイプを確認してください。(P.16)
映像が乱れる	● ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13) ● サーチ再生中は多少乱れが出るがありますが、故障ではありません。
音声がでない	● リモコンの音量レベルを確認してください。(P.31) ● 早送り / 早戻し再生中に音声は出ません。 ● 「音声」ボタンで切り替えてください。(P.32)
字幕言語が切り替えられない	● 字幕の入っていないディスクは切り替えできません。(P.32) ● 複数の字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.32) ● 「字幕」ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.31)
字幕が出ない	● 字幕の入っていないディスクは切り替えできません。(P.17) ● 字幕が「オフ」になっている場合は、「字幕」ボタンで切り替えてください。(P.32)
音声言語が切り替えられない	● 複数の音声が入録されていないディスクでは切り替えできません。(P.17) ● 「音声」ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.32)
アングルを変えて見ることができない	● 複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。 ● 複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。
メディアセンター	
動画ファイルや音楽ファイルが再生できない	● 対応形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になりますのでご了承ください。

地上デジタル放送 / ワンセグ放送

-
- | | |
|-------------------------|---|
| 視聴できない | ●付属アンテナは窓際などの受信レベルが良い場所に設置してください。
ビルや地下、コンクリートの壁を使用した建物の中では受信ができない場合があります。(P.44) |
| 地上デジタル放送
が視聴できない | ●TV設定メニューの受信方法設定が[フルセグ]に選択されているか確認してください。(P.49) |
| ワンセグ放送が視
聴できない | ●TV設定メニューの受信方法設定が[ワンセグ]に選択されているか確認してください。(P.49) |
| 視聴中にコマ落ちや
ブロックノイズがでる | ●受信レベルが弱い可能性があります。
受信レベルが良い場所に設置してください。(P.44) |
-

その他

仕様

型番	SU-14FPB
商品名	14インチフルセグ対応ポータブルブルーレイプレーヤー
電源	DC12V 2.0A AC 100V 50/60Hz
本体サイズ	約 356(W)×50(H)×247(D)mm (折りたたみ状態)
画面	14.1インチTFT液晶 16:9 解像度1920×1080
映像信号方式	NTSC/PAL/自動
製品重量	約1600g
許容動作温度	5℃～35℃
対応フォーマット	MPEG1/MPEG2/MPEG4 /VC-1/WMV/AVCHD/AVCREC/JPEG/MP3/WMA ※DRM(デジタル著作権管理)ファイルには対応していません。 ※テレビ放送を2時間を超えて録画したDVDは、正常に再生できない場合があります。
受信周波数	UHF放送 13~62ch ※ワンセグ放送対応
消費電力	最大20W
音声出力(スピーカー)	2.0W×2
出力端子	HDMI×1 AV端子×1 3.5mmイヤホンジャック×1
入力端子	HDMI×1 USBポート×1 SDカードスロット×1 電源入力端子×1
SDスロット	SD、SDHCカード(最大32Gまで対応)
USBスロット	USBメモリー(USB2.0対応 最大32Gまで対応)
対応BD	1.1(BONUSVIEW)
対応ディスク	BD / BD-R / BD-RE / DVD-R / DVD-RW / DVD+R / DVD+RW DVD / VCD / CD / CD-R / CD-RW
充電バッテリー	リチウムイオン電池 7.4V 4000mAh 29.6Wh
充電時間	約4時間
再生時間	約2時間
付属品	取扱説明書兼保証書、リモコン、単四乾電池×2(動作確認用)、ACアダプター、 車載用DCアダプター、AVケーブル、イヤホン、ロッドアンテナ(伸縮タイプ)、 スチールボード、miniB-CAS カード

※仕様は製品の改善・品質向上のため予告なく変更される場合があります。

※製品写真の液晶画面ははめ込み合成です。各ケース内に使用している製品の写真はあくまでもイメージであり、実際の製品とは多少異なる場合がございます。

- ・再生可能ディスク・対応メモリーカードは、すべてのディスク・メモリーカードやすべての容量に対し、動作保証をするものではありません。
- ・再生可能フォーマットはすべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- ・連続再生時間・充電時間は目安であり、使用条件やバッテリー状況などの影響で異なります。

アフターサービス

■この製品は家庭用です。

この製品は家庭用です。業務用や長時間連続して使用しないでください。

■万一、本体を落としたり破損した場合は点検修理（有料）をご依頼ください。

お買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

■取扱説明書「安全上のご注意」の記載事項を守ってお使いください。

思わぬ事故や機器の故障の原因となります。

■保証書

この製品は保証書付きです。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日より1年間です。

■修理をご依頼いただく際は

【保証期間中の場合】

商品に保証書を添えてお買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

【保証期間が過ぎている場合】

お買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

※保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、お客様が業者に依頼して発生した

本製品の取り付け・取り外しの費用等は弊社では一切責任を負いかねます。

※本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。

※弊社は出張修理サービス等を行っていません。

※修理をご依頼いただく際の輸送箱は、お客様自身でご用意をお願いします。

「修理規定」に基づき修理を承っております。

「修理規定」の最新版は弊社ホームページでご確認いただけます。

アグレクション ホームページ <https://www.agrexsione.co.jp>

■アフターサービスについてご不明な場合は

アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、損失について、当社は一切責任を負いません。
- 保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、本製品の取り付け・取り外しに発生した費用等に関して当社は一切責任を負いません。

保証規定

- ・保証期間内の製品については、保証規定とあわせて「修理規定」も必ずお読みください。同意いただいたうえで、アフターサービスをご依頼ください。
- ・本規定は予告なく変更する場合がございます。本規定の最新版は、当社ホームページでご確認いただけます。なお、本規定は常に最新版を適用するものとします。
- ・延長保証など、当社保証とは別の保証を利用される場合は、修理品送付前に販売店にお問い合わせください。
- ・保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ・保証期間は使用開始時期・使用期間にかかわらず、保証書に記載の期間です。修理後も保証期間に変更はありません。
- ・保証期間内であっても、保証内修理適用判断については、当社権限にて実施させて戴きます。全て無料保証修理をお約束するものではありません。

①ご購入日から保証期間内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店又は当社カスタマーセンターにお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理いたします。

②本製品をネットオークション、ネットフリーマーケット、転売品、中古品またはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。

③本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。

④保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

当社によらない分解、改造（ソフトウェアを含む）、修理等が行われた痕跡がある場合。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送、強い衝撃等による故障または損傷。

※火災、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、虫害、鼠害、地震、落雷、津波および風水害、その他天災地変、錆、カビ、たばこの煙等による汚れ、ゴミや埃などの異物混入、あるいは異常電圧などの外部要因による故障または損傷。

※一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用など）のご使用、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。

※保証書の提示がない場合。 購入日が確定できるレシート、納品書、販売店からの発送メール等が無い場合。

※保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

※付属品（リモコン、アダプター等）と消耗品（バッテリー等）の交換。

※液晶パネルのドット抜けは製品の性質上、初期不良・修理・返品制度の対象外となります。

⑤サポート及び保証書は日本国内にのみ有効です。Effective only in Japan.

製品保証書

品名	14インチフルセグ対応 ポータブルブルーレイプレーヤー	型名	SU-14FPB
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	1年
お客様	お名前		
	ご住所		
販売店（記入のない場合は保証対象となりません） ※ただし購入日を確定出来る書類（レシート、納品書、販売店からの発送のメール等）がある場合は保証対象となります。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">印</div>			

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この保証書はおお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

- ※本製品のサポートは日本国内限定となります。
- ※製品をお送り頂きます場合は必ずご連絡後をお願いします。

発売元:株式会社アグレクション

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1

お客様サポートセンター

☎

048-940-5889

受付時間:平日 9:00~17:00(土日祝祭日は除く)